

連携講座 ③-9【金沢大学】 定員60名



◆金沢・加賀・能登学術ノート

～いしかわから見える日本の未来可能性～

主 題 2015年3月14日、北陸新幹線が金沢まで開業し、首都圏-金沢間が最短で2時間半で結ばれ、金沢がぐっと近くなりました。金沢をより身近に感じていただくため、この講座ではさまざまな角度から金沢をご紹介します。

金沢市を県庁所在地にもつ石川県は、加賀、能登それぞれの地域が独自の歴史・文化・自然環境を持ち、それらによって育まれてきた産業や技術、そして時を経て醸成されてきた生活文化や風習、もてなしの風土があり、新幹線開業後、国内外から数多くの観光客が押し寄せています。

一方で、他の地方同様に石川県もまた、人口減少による諸課題を抱える課題先進地域の一つでもあります。今年度は、金沢・加賀・能登の「リアルな今」にスポットをあて、金沢大学ならではの研究アプローチでそれぞれの地域と共創し取り組む持続可能な地域づくりについて紹介し、これからの日本の未来をつくる重要なファクターである「地域」の可能性について考えます。

この講座を機に金沢・加賀・能登への興味・関心が深まることで、実際に足を運んでいただくきっかけになれば幸いです。

講座番号 ③-9

時 間：午後2時～3時30分

場 所：築地社会教育会館

回 数：3回

受講料：900円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	11/23(土)	次世代の公共交通を担う自動運転技術と市街地実証実験	米陀 佳祐
第2回	11/30(土)	むらづくりのセーフティーネット ー必要なものは活性化だけですかー	林 直樹
第3回	12/ 7(土)	ローカルの可能性 生きている実感を求めて	蜂屋 大八

講 師 紹 介

米陀 佳祐 (よねだ けいすけ)

金沢大学新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニット 助教。博士(情報科学)。北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。専門は移動ロボット、画像処理、人工知能

林 直樹 (はやし なおき)

金沢大学人間社会研究域人間科学系(人間社会学域地域創造学類)准教授。博士(農学)。京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了。専門は農業土木、農村計画。

蜂屋 大八 (はちや だいはち)

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 准教授。博士(教育学)。筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻博士後期課程修了。専門は社会教育学、地域づくり。



金沢駅鼓門(写真データ：金沢市)